

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 21093
お名前	小熊 完治
性別	男
年齢	69歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

現役時の仕事は、医療検査試薬及び機器の開発でした。この仕事は疾病の発見であり、疾病の病名とその度合いが判明すれば、医療界では一定の処方があります。しかし、高齢化に向かう日本人の体力の低下、虚弱化による疾病率の増加が予想される中で、当時の厚生省、労働省の健康づくり指針(一次予防)に興味を持ちました。

退職後も福祉関連の仕事の傍ら、新しい健康管理の方向に「健康&福祉」の健康管理方法として関心があり、健康管理士一般指導員の資格を知り、学歴も問わず、老人でも挑戦でき、自分の健康維持も含め取得したいと思いました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

毎月教材が来て、毎月答案を提出するつもりが、最初に届いた6冊以上の教材を見て、この歳で出来るかな～？と後悔しました。各冊パラパラと見ると馴染みの用語もあり、図解の解説が多くあり、退職後の勤務は週3日でしたので、どうやらいける気がして着手しました。通信教育は初めてでしたが、通信教育のいいのは、晩酌してでも勉強できた事です。しかし、酒量と勉強の能率が反比例する事が分かり、試験の1ヶ月前より晩酌は無くなり、合格対策講座に参加された大半の賢そうな若い女性を見て、私は自信喪失しました。試験当日は、周りの人に比べ回答スピードが遅く、失敗とと思っていましたが、合格通知を受け取り、老いてもまだまだと自信が持て、今の仕事にも活かしています。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

現役時代の体験と本資格で得た知識を活かして、「新しい健康づくり評価アドバイス・システム」(名称:健康の先生)を作り、東京都健康応援団に所属するNPO健康・福祉支援センターを通じて、インターネットで都民に紹介しました。

URL: <http://www.healthy-life.or.jp> (ヘルスチェック) 受信料無料

活動事例 都民アクセス: 2007年3月～2008年9月 5845件

東京都都庁の広場: 2007年10月1日 「ピンクリボン IN TOKYO」 受検体験デモ(無料)

中野区健康づくり月間: 2008年1月 受検体験デモ(無料)

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

健康情報は、まだまだ学術的にも確立していない事項が多く、このような状況の中で我々健康管理士としても多少不安があり、日頃の情報収集が他方面に向けて必要であると感じております。しかし、健康管理士の資格を得るにあたり、日本成人病予防協会のスタッフさんの受験から資格を得るまで誠意あるお世話を頂き、資格修得後も「ほすぴ」による最新の情報と先生方の添削を頂き、「セミナー」においては実践力のある先生方の講演等、これらのフォローは健康管理士としてお大きなバックボーンになって、自信を持って仕事ができます。ありがとうございます。